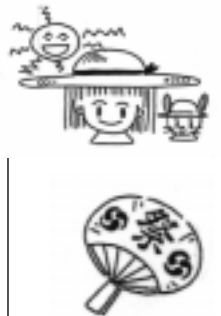




発行責任者
隠岐広域連立立
隠岐病院長
西郷町城北町 355



その指示に従って下さい。乳幼児等には特に注意してください。

気を付けよう

病原性大腸菌のおはなし

「O157」

内科医長 小山美佐恵



食中毒の流行しやすい季節がやってきました。今後初秋にかけてまでは注意が必要です。

「病原性大腸菌O157」は、健康な人、家畜の中にも存在する大腸菌の一種です。感染後四〜八日の潜伏期の後症状を引き起こします。成人では、感染しても症状がなかったり、あっても軽い下痢だけの事がほとんどですが、乳幼児や高齢者の方では、重症に至る場合もあるので、特に注意を要します。症状としては、始めは腹痛や水様性の下痢です。まれに出血性の下痢が一〜二日続

いた後、ペロ毒素により「溶血性尿毒症性症候群」と呼ばれる疾患をひきおこすこともありま

す。これは、腎臓の機能が急速に障害される急性腎不全（尿の量が減り血尿や蛋白尿がでる）、止血に関係する血液中の血小板の異常な減少、赤血球が急速に破壊されるために生ずる貧血の三つの症状を特徴とする重篤な疾患で、死に至ることもあります。万一、そのような合併症を起すことは稀ですが、出血を伴う下痢を生じた場合には、かかりつけの医師の診察を受け、

そのような食中毒の発生には予防が最も大切といえます。次のような予防方法を確実に行いましょう。

その一 手指や調理器具は十分に洗いましょう。



その二 O157は七五十分以上の加熱で死滅します。調理する時は、十分に加熱しましょう

その三 調理した食品は速やかに食べましょう。すぐに食べられない場合は、冷蔵庫に入れ低温で保存し、菌の増殖を防ぎましょう。



その四 生肉が触れたまな板、包丁、食器等は熱湯等で十分消毒し、手も洗ってください。

* 冷凍の肉やお魚、お家で解凍するには・・・

食品衛生の専門家は食品を解凍するのに、冷蔵庫の中で解凍する、電子レンジを使う、あるいは防水性の袋に入れて冷たい水に浸け三十分ごとに水を取り変える、の三つの方法を勧めます。水を変えることは食品を低温に保ち、細菌の増殖を抑える上で重要ですが、解凍したらすぐに調理してください。冷水に浸けないで調理台の上で肉類や魚を解凍しないように。細菌は室温では何倍にも増えてしまいます。

以上のことに気をつけて、楽しい夏を過ごしましょう。



たなばた

飾り飾りをさしあそび



今年も恒例の「七夕飾り」が、病院青年部の手によってエレベーター前のロビーに飾られました！病気やケガの回復、生まれる赤ちゃんへ…。などまたまた笹の葉は沢山の願い事で重そうに垂れていました。

短冊に込めた皆さんの願いがかないますように…。皆様の健康を祈って…。

初めまして!

小児科医師と

外来のご紹介

小児科医長 齋藤恭子

七月から前任の葛西先生より小児科を引き継ぎました齋藤と申します。

隠岐出身なので、年齢の近いお母さんたちには知った顔も多く、今更自己紹介?というのも何ですが、せっかくの機会ですから簡単な自己紹介と最近の小児科外来の様子などを書かせていただきます。

まず、私ですが、昭和四十七年、子年生まれです。高校を卒業後、十数年離れていましたので久しぶりの故郷です。三年前から、愛犬アニー(黒のトイ・プードル、やや太り気味)と一緒に暮らしておりますが、華の独身。しかし、実家が目と鼻の先になったもので、夕食時は大概実家で過ごし、ちょっと極楽な生活



をしています。これといった趣味はないのですが、この春まで、海のない岐阜県にいた反動もあって、暇になると海に出かけています。タオルを首に、アジ釣りをしたり、にいなを採ったり、いい季節に帰ってきました。そのうちに真っ黒に日焼けして外来で診察していただきますからお楽しみを...



さて、その外来の様子ですが、梅雨が明けるまでは、水疱そうや溶連菌感染が多かった様です。最近何とか落ち着いてきましたが、その一方で、プール熱や胃腸風邪がチラホラ見られますので気を付けてくださいね。

小児科外来のスタッフは、ご存じのことと思いますが、もっぱら新米の私と、ベテランの森岡さんの二人で何とか切り盛りしています。処置に手間取ったりしますと長くお待たせしてしまふことがあるかと思いますが、どうぞご理解下さい。もちろんお子さまの状態が悪ければ、優先して診察をしますので、心配なときには一声かけてくださいね。また、感染症で受診されるお子さまが多いことが小児科の特徴ですが、患者様同士の病気のうつしあいのできる限り減らすため、水疱そうのように感染力の強い病気の場合、疑問い方は別室でお待ち頂いております。受診前に連絡いただければ準備もでき、ありがたく思います。同様に、生後三ヶ月までの赤ちゃんの受診を希望される場合も事前にお知らせ下さい。抵抗力のない赤ちゃんを長くお待たせしないよう受診時間など、できる範囲での配慮をさせていただきます。



お嬢さん募集中!!です(2人供だつてさ(>_<))

最後に、夏は風邪をひくお子さまも少なく、小児科は割と落ち着いているのが常です。隠岐中の子供達が、暑いこの夏にしっかりと遊び、しっかりと休んで、もりもり食べて、元気でいてくれれば、久しぶりに隠岐の夏を満喫できるかも...等と、少し期待している最近の私です。今後ともよろしくお願いいたします。





お盆期間中の診療について

平成13年8月13日（火）から15日（木）
当院は、**平常どおりの診療体制**です。

夜間・休日等受診される場合は、

受診される場合は当院（2 - 1356）へ電話してからお越しくださいますようお願いいたします。

（患者様のご氏名・ご住所・診察券の番号、どんな症状なのかお伝え下さい）

保険証と診察券のある方は持参し、夜間救急患者出入口よりお入り下さい。

（午後9：00以降は施錠しておりますのでインターホンでお知らせ下さい。）

診察は救急外来で行います。看護師がお呼びするまでしばらくお待ち下さい。

（患者様が多い場合は、お待ちいただくことがあると思いますがご了承ください。）

職員採用試験のお知らせ

隠岐広域連合では、平成14年度第二回職員採用試験を下記のとおり行います。
なお、詳しい内容等については隠岐広域連合（08512-2-9698 総務医療課）または隠岐病院（08512-2-1356 総務課）までお問い合わせください。

募集職種 看護師 《1名》
募集期間 平成14年8月2日～9月6日
採用試験 平成14年10月5・6日
試験会場 隠岐広域連合（西郷町「ピア5F」）



あとながき

きゅうり、トマトなどの夏野菜は、それぞれの栄養の他に、体を冷やすようにもなっているとか。まったく自然というものはうまくできているようですね。それにくらべて、夏の暑い日々を快適に暮らすための冷房は、使いすぎると身体を冷やしすぎたり、屋外の温度を上げてしまったり…。せっかくの便利な物ですから、もっと上手に利用しようと思つてお掛けようと思つます。

お見舞いの方へ

夏本番！、物が腐りやすく、食中毒のおこりやすい時です。地域ではもちろんのことですが、病院内での発生は絶対避けなければなりません。と同時に治療上の必要から食事制限を受けている患者さまもおられます。お見舞いにあたりましては、食料品・なま物等の持込に十分なご注意をお願いいたします。